

# 第9回“女性農業者のための 農業経営基礎セミナーin札幌”

～農業経営の課題を見出し、解決への第1歩を！～

北海道の農業は、北海道経済を支える主要産業ですが、様々な環境変化の中にあり、多くの農家で何らかの課題を抱えているのではないのでしょうか。

このセミナーでは、特に女性農業者の皆さまの立場から見える課題や悩みに対し、まずは「経営」に関する基本的な事項を理解することにより、自らの農業経営の課題を見つめなおし、解決への第1歩につなげることを目指しています。また、同じ農業に取り組む女性同士の「ネットワークづくり」につながり、元気になれる好評のセミナーです。

過去の開催でも、参加者の多くの皆さまが新たな取り組みへの挑戦につなげています。ぜひご参加ください。

日 程 : 1回目(前半) 令和2年1月16日(木)～17日(金)

2回目(後半) 令和2年2月17日(月)～18日(火)

会 場 : 中小企業基盤整備機構北海道本部 大会議室

(札幌市中央区北2条西1丁目1-7 ORE札幌ビル6階)

受講定員 : 20名(先着順)

受講料 : 無料(但し、交流会は参加任意の会費制)

受講対象者 : 農業経営を支える女性の皆様(経営者又は経営者の妻など経営に携わっている方、後継者や新規就農の方) ※農業法人経営・家族経営を問いません。

## カリキュラム(前半)

※ 適宜休憩が入ります。

月日	時間	科目	内容	講師(敬称略)
1/16 (木)	12:50～13:00	開講式	オリエンテーション	
	13:00～14:00	アイスブレイク	◆自己紹介 ◆セミナー参加の動機・目的は何ですか	きやりあ工房 代表 田崎 悦子
	14:00～16:00	魅力ある職場づくり	農業における「魅力ある職場には何が必要か」「魅力ある職場をつくるために何をすべきか」考えてみましょう。 ◆魅力ある職場とは ◆あなたの職場の現状は ◆魅力ある職場にするための行動 ☆グループ討議等	きやりあ工房 代表 田崎 悦子
	16:00～17:30	農業経営における労務管理	良い人材に長く働いて貰うためには労働環境を整えることが重要です。農業経営における労務管理の特色や留意事項について学びます。 ◆労務管理の必要性と効果 ◆農業における労務関係の法令、制度の概要 ◆就業者の確保と事業承継	辻コンサルティング・オフィス 代表 辻 亨 (中小企業診断士)
	18:00～20:00	交流会	受講者同士の懇親と情報交換	
1/17 (金)	9:00～12:00	農業経営における財務管理	財務管理の必要性とその効果を理解し、儲かる農業へとつなげるためにまずできることは何かを考えます。 ◆クミカン頼りで井勘定になっていませんか？ ◆クミカンから何が見えるのか ◆決算書から診える経営内容	辻コンサルティング・オフィス 代表 辻 亨 (中小企業診断士)
	13:00～15:30	職場づくりのためのコミュニケーション	活気あふれる職場づくりのためのコミュニケーションを学びます。 ◆コミュニケーションとチームワーク ◆課題解決の手順と方法 ☆ゲーム研修を通して実践的に学びます。	きやりあ工房 代表 田崎 悦子
	15:30～16:00	課題	2日間の学びから「課題」を設定し、行動計画を立てます。(宿題)	きやりあ工房 代表 田崎 悦子

月日	時間	科目	内容	講師（敬称略）
2/17 (月)	13:00～14:30	職場の課題解決に向けて	インターバル期間中に実行した「課題解決のための行動と結果」を発表します。 ◆具体的な行動と成果を発表し相互に学び合う。	きやりあ工房 代表 田崎 悦子
	14:30～17:00	【事例研究】 先輩(先駆者)から学び、そして語ろう！ (仮題)	先輩(先駆者)の足跡から学びます。 (発表と意見交換) ◆試行錯誤しながら次々と挑戦を続けている取り組みについて紹介いただきます。 ・第1部(14:30～15:30) (有)大塚ファーム 副社長 大塚早苗 ・第2部(15:30～17:00) 出席者(大塚氏、修了生、受講生)による質疑・意見交換。	(有)大塚ファーム 副社長 大塚早苗 (第1回修了生)  <コーディネーター> 田崎 悦子(前掲)
	17:00～17:30	中小機構と農業者支援	◆「スマート農商工連携」の促進 ◆小規模企業共済	
	18:00～20:00	交流会	受講者同士の懇親と情報交換（過去の修了生も参加します。）	
2/18 (火)	9:00～12:00	商品開発の視点	共感力を生む商品開発 ◆始める前によくよく考えること。 ◆何のために誰のために？コンセプトづくり。 ◆鳥の目で見ると「今」と商品。販路から考えよう！ ◆農産物加工の事例紹介。 ◆ブランディング。	野菜ソムリエ上級Pro. 北海道6次産業化プランナー 萬谷利久子
	13:00～15:00	農業経営を考える	道内の500以上の農業者とネットワークを持ち、農業者の実状に詳しい講師が、このセミナーで見えてきた皆さまの農業の課題に対し、参考事例から、解決に向けた処方箋を示していきます。 ◆自らの農業経営と課題の本質を見直し、対応策を明らかにする	(株)GB産業化設計 代表取締役 岩井 宏文
	15:00～16:00	研修を終えて	この研修で何を学び、どのようなことに気づきましたか。将来に向けて取り組みたいことをまとめます。 ◆この研修での学び・気づきどう活かしますか ◆これから何に取り組みますか。	きやりあ工房 代表 田崎 悦子
	16:00～16:10	閉講式		

※前後半（延4日間）とも参加いただくことを前提としたカリキュラムとなっておりますので、併せてご参加ください。  
※カリキュラムについては、変更する場合があります。

### 《主な講師のご紹介》

#### ■田崎 悦子（たさき えつこ）きやりあ工房 代表、人材育成コンサルタント

数多くの企業で人材育成の指導・コンサルティングに携わり、大阪教育大学キャリア支援副センター長等を歴任。専門は、キャリアデザイン、人材育成・人材開発、北海道の地域づくり（観光・食・ツーリズム）等。また、新規就農者のキャリア形成に関する調査・研究等、農業に深く関わる。本セミナーのコンセプトづくりから関わり、第1回よりメイン講師を務め、受講生からも高い信頼と評価を得ている。東京生まれ、平成9年北海道に移住。

#### ■辻 亨（つじ とおる）辻コンサルティング・オフィス 代表。

中小企業診断士。農業経営アドバイザー、農業改良普及員資格。農協職員として30年にわたり経営改善支援や農業振興施策の実務に携わる。その後独立し、農業経営の改善支援（財務分析・技術分析）、投資計画策定支援、地域の農業振興計画の樹立と実践（国・道の各種補助事業の活用）、新規就農者への支援（農地制度等の各種制度活用）等）に実績を有する。農業支援組織（酪農ヘルパー、コントラクター、共同農業法人等）の設立・運営にも携わる。

#### ■大塚 早苗（おおつか さなえ）(有)大塚ファーム 取締役副社長・北海道指導農業者

会社員経験を経て結婚後は新篠津村で農業を営む。有機野菜の生産・販売、農業体験の企画・受入などに取り組んでいる。6次産業化を実践中で、自社工場での加工販売は冬場の従業員雇用対策を含めて、経営を支えるもう一つの柱となっている。3人の息子を子育て中。

■萬谷 利久子（ばんや りくこ）中小機構北海道本部 農商工連携アドバイザー・北海道6次産業化プランナー  
農業ビジネスと一緒に考えるマーケティングを中心としたプランナー。商品開発、飲食店、デザインなどのプロデュースを行う。北海道大学大学院観光学院ディスティネーションマネージャー。シニア野菜ソムリエ。農×食×観光をフィールドとして道内を飛び回る。

#### ■岩井 宏文（いわい ひろふみ）(株)GB産業化設計 代表取締役。

仙台市出身。北海道大学大学院卒業後、現(株)ドーコン入社。(助)北海道農業企業化研究所を経て、2011年にGB産業組織設計を設立し、同年10月に現社名に変更。北海道の農業の現場を飛び回り、北海道農業の高い潜在力を活かした、これまでにない新たなビジネスフィールドをともに考え、「しくみ」を設計・構築している。新たな農業ビジネスの開発や農業経営の改善、6次産業化等への取り組みに実績を有する。

## 受講のお申し込み

下欄の受講申込書に必要事項をご記入の上、FAX（011-210-7480）又はEメール（hokkaido@smrj.go.jp）にてお申込み下さい。

◎申込みは、令和2年1月15日（水）まで受け付けます。（但し、先着順で、定員に達した場合は早期に締め切る場合があります。）

# 受講申込書

中小機構北海道本部 人材支援課 FAX（011-210-7480） 行

Eメール（hokkaido@smrj.go.jp）

令和 年 月 日

セミナー名	第9回「女性農業者のための農業経営基礎セミナーin札幌」 ～ 農業経営の課題を見出し、解決への第1歩を！ ～		
ご住所	〒 - 電話（ ） - / FAX（ ） - e-mail:		
ふりがな		年齢	歳
受講者氏名		役職等	
農園名等		主な生産物	
経営の規模	①畑作（ ha） ②稲作（ ha） ③花卉（ ha） ④果樹[品目： ]（ ha） ⑤酪農（ 頭） ⑥畜産（ 頭） ⑦その他[ ]（ ）		
本研修に期待すること (自由記入)			

(注) 個人情報保護法に定義されます個人情報に該当する情報については、当機構内で実施する事業で使用させていただきます。当該個人情報の第三者（業務委託先を除く）への提供または開示はいたしません。

但し、お客様の同意がある場合および、法令に基づき要請された場合については、当該個人情報を提供できるものといたします。

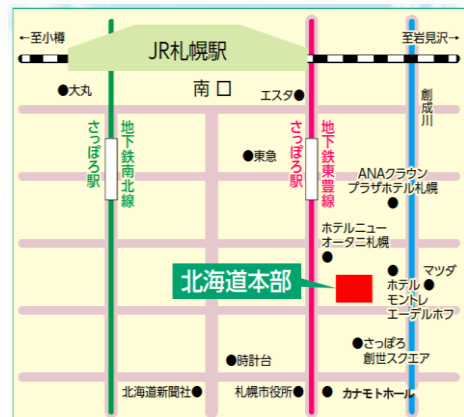
### ◇交流会について

交流会については、申込受付後改めてご案内いたします。農業経営に頑張る女性同士の交流は大きな力にもなりますので、是非ご参加いただきたいと存じます。但し、会費制となりますので、あらかじめご了承ください。

中小機構北海道本部は、国の中小企業施策の実施機関で、北海道農業の経営強化や高付加価値化の支援も行っております。また、中小機構北海道本部が運営する「中小企業大学校旭川校」では企業の人材育成のための様々な研修を行っております。

中小企業大学校旭川校  
旭川市緑が丘東3条2丁目2番1号  
TEL0166-65-1200  
★詳細はHPから！

中小 旭川校 検索



### 【お申込み・お問合せ先】



独立行政法人 中小企業基盤整備機構 北海道本部  
人材支援課 担当：小林  
札幌市中央区北2条西1丁目1-7 ORE札幌ビル6階  
TEL 011-210-7475 FAX 011-210-7480



中小 北海道 検索

# 北海道農業の更なる発展を応援します！

《参考》

【中小機構北海道本部の農業者支援について】

## 1. 概要

注目③

区分	経営支援	地域資源・農商工連携	共済制度	人材育成 (セミナー・研修)	スマート農商工連携の促進
支援事業	企業経営に関する各種のソフト支援 ・経営相談 ・専門家継続派遣事業 ・事業承継支援 ・海外展開支援 ・マッチング・販路開拓支援 他	新商品・新事業の事業計画から販路開拓までトータルに支援 ・地域資源活用事業 ・農商工連携	経営者の退職金 ・小規模企業共済	農業の経営力強化を支援 ・農業経営者育成セミナー ・中小企業大学校旭川校研修事業	農業者、IT系企業、研究者等をつなぎ、農業課題の解決に向けた技術開発と課題解決を図る ・リアルマッチング ・SNSによる交流 他

注目①

注目②

## 2. 注目ポイント

### ①小規模企業共済

小規模企業の個人事業主又は会社等の役員の方が事業をやめられたり退職された場合に、生活の安定や事業の再建を図るための資金を予め準備しておく制度です。

- 【特色】**
- 税制面での大きなメリット
    - ◎ 毎月の掛金が全額所得控除
    - ◎ 受取り共済金は退職所得扱い(一括) 公的年金等の雑所得扱い(分割)
  - 無理のない掛金  
月額1,000円～70,000円(500円単位)の範囲で自由に選択可。
  - 共同経営者の方も加入可能(2名まで)。

### ②農業経営者育成に関するセミナー

北海道農業の経営力強化や付加価値向上等に資するセミナー・研修を実施しています。

- (例) ・「女性農業者のための農業経営基礎セミナーin札幌」  
 ・「十勝地域農業者合同研修」  
 ・「新農業プロジェクト創出セミナー」  
 ・「支援担当者のための農業経営セミナー」 等

※過去に実施したものですが、現在は実施していない場合があります。



### ③『スマート農商工連携』の促進

スマート農商工連携とは、IT系の技術を活用した農業生産のスマート化を始め、素材の高付加価値化、ECによる販路拡大等を含め、農業者と商工事業者が連携してより付加価値の高い事業を推進することであり、中小機構北海道本部はその繋ぎ役を果たすべく、セミナーやマッチングイベント、SNS上の交流促進等の事業を実施しています。

- (例) ・「スマート農商工連携マッチングセミナー」  
 ・「スマート農商工連携Café in 北大BS」  
 ・「スマート農商工連携SNSコミュニティ」(FB)



★SNSコミュニティへのアクセスはこちらから

